

令和6年度第3回かながわ人材育成支援ネットワーク（以下支援ネットという）幹事会 報告

日 時：令和7年2月28日（金）16時00分から17時00分まで

場 所：産業技術短期大学校 西キャンパス特別教室5

出席者：幹事7名（欠席6名）

所属	氏名	出欠
(一般社団法人)神奈川県専修学校各種学校協会	田村 守	出
株式会社就職塾	加藤 敏明	出
東部総合職業技術校	小山 宏	出
西部総合職業技術校	高橋 厚之	欠
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構神奈川支部 関東職業能力開発促進センター	高橋 哲也	欠
いすゞ自動車高等工業学校	平山 実	欠
神奈川県立産業技術総合研究所	斉藤 光弘	出
神奈川県職業能力開発協会	木下公太郎	欠
(公財)神奈川産業振興センター	藤井 俊之	出
横浜国立大学	菅原 朋之	出
神奈川大学	旭 馨	欠
(株)キャリアサポート湘南	加藤 勝彦	出
キャリア・エンパシー	島村 泰子	欠

産業技術短期大学校	工藤 伸弘	校長
人材育成支援センター	藤井 孝一	所長
〃	高松 徹	副技幹
〃	津久井二郎	主査
〃	植村 道忠	人材育成コーディネータ

I 議題

1. 令和6年度年間活動実施状況について
2. 「人材育成に係るニーズ調査」集計結果について
3. 「ネットワーク会員情報の整理」結果について
4. その他

II 話題提供

(テーマ) 『マネジメントの基礎を学ぶ(概要)』

(講師) 榎本 竜二郎氏 シナジー・ハブ代表

分科会座長、スキルアップセミナー講師

□資料(資料1) 令和6年度年間活動実施状況

(資料2-1) 試行講座「マネジメントの基礎を学ぶ」リーフレット

(資料2-2) " 実施報告

(資料2-3) 「基礎的マネジメント能力向上カリキュラム開発分科会」報告書(仮)

(資料3-1) 試行講座「若手社員のやる気をさらに上げるポイント」リーフレット

(資料3-2) " 実施報告

(資料3-3) 「若手社員研修カリキュラム開発分科会」報告書(仮)

(資料4-1) 「第2回産業人材育成フォーラム」リーフレット

(資料4-2) " 実施報告

(資料4-3) " アンケート集計結果

(資料5-1) 令和6年度ニーズ調査

(資料5-2) ニーズ調査による研修テーマ案

(資料6) ネットワーク会員情報の整理結果

(参考1) 令和6年度かながわ人材育成支援ネットワーク幹事名簿

I 議題 1. 令和6年度年間活動実施状況について

① 幹事会について

本日第3回幹事会として開催し、話題提供を榎本竜二郎様よりお話ししていただきます。テーマは「マネジメントの基礎を学ぶ(概要)」についてです。榎本様は令和6年度カリキュラム開発分科会の座長であり、令和7年度スキルアップセミナー講師でもあります。

② 分科会について

「基礎的マネジメント能力向上カリキュラム開発分科会」について、計5回の会合を終了し、試行講座を12/23, 24、受講者11名にて開催し、「若手社員研修カリキュラム開発分科会」においては計6回の会合を終了し、試行講座を12/19, 20、受講者14名にて開催しております。

それぞれの試行講座リーフレット、実施報告、報告書を付しており、報告書については現在印刷中であり、出来上がりが3/10となります。

③ スキルアップセミナーについて

本年度は分科会に関わるセミナーを11本開催予定し、内4本が受講者数の関係で中止となりました。

④ 第2回産業人材育成フォーラムについて

令和7年1月14日（火）に、はまぎんホール・ヴィアマーレにて「未来をつなぐ！～人として成長できる場所を求めて」をテーマに Metalina（鈴木理那）氏に講演とその仲間たちとともに舞台表現（ダンスパフォーマンス）を開催いたしました。参加者数146名でした。

リーフレット、実施報告、アンケート集計を付しております。特に意見として多かったのが、“自ら考え、積極的に行動し、生きている話に感銘を受けました 日本の未来に希望が持てました” “姿勢だけでなく、内容もきちんと成り立っていた事は素晴らしいと思いました” “1時間半があつという間だった、全てにおいて私達を飽きさせないような進行、講演会ではあるが何かのイベントを観に来たような面白さがあつた” “好きなダンスを通じて一見相反する貧困対策ボランティアに結び付ける発想に感銘を受けました” “短い時間の中、内容がとてもまとまっていて何を伝えたいのか知って欲しいのか分かりやすかつた” “エンターテインメント性のあるプレゼンで眠くなる事なく聞くことができ 素晴らしかつたです” “Metalinaさんの公演の仕方が素晴らしかつた また見たい” など高評価のものでした。

2. 令和6年度ニーズ調査について

毎年行っている調査で、カリキュラム開発分科会テーマの参考となっています。今年度は12月16日より令和7年1月31日までとしました。

調査対象は498社、回答数76件（回答率15.3%）で、過去3回の回答数7件、11件、18件と比べてより多くなりました。

集計結果の概要は、製造業（61.8%）が多かつた中で、とりわけ新入社員、管理職、開発・生産に関わる研修を実施している会社が多く、重視している研修内容も新たな知識・技術の習得がほとんどで、管理職についてはマネジメント・スキルの向上が一番多く、興味ある研修テーマも管理職の基礎力や応用力向上、問題解決手法となっている。今後取り上げてほしい研修テーマとしては、リスクマネジメントを含む「プロジェクトマネジメント研修」及び「新入社員向けと管理職向けのタイミングにおける社会人基礎力研修」に関心が高かつた。

従いまして、来年度のカリキュラム開発分科会のテーマ案として、この2つが候補として上がりますが、対応ができる座長であり講師の選定など検討していかなくてははいけません。

3. ネットワーク会員情報の整理結果について

令和5年時点での会員数は、支援ネット195、企業ネット495でしたが、今年度2回の調査結果として令和7年2/14現在、支援ネット158（退会会員数37）、企業ネット407（退会会員数91）であつた。但し、回答が無いものについては令和7年度にホームページ告知や利用機関確認票の再送などを行い保留期間（令和7年4月～令和8年3月）終了後退会扱いとし、令和8年度より本

格稼働する予定です。

4. その他
特になし。

以上について承認。

Ⅱ 話題提供

榎本 竜二郎氏より、『マネジメントの基礎を学ぶ（概要）』についてお話いただきます。

以上